

多文化共生

はじめに

インバウンドツーリズムの発展や、外国人労働者の参入等で、日本に住む外国人市民が増えている。萩市の人口は41,785人、うち外国人市民は471人ほどである。現任校の地区に限っては、35人の外国人居住者がいるが、生徒に問うと彼らとの面識はないという。互いに存在は認識しており、相手のことを知りたいという気持ちをもっている一方で、外国人市民と日本人市民との交流はほとんど見かけられない。それぞれがもつバックグラウンドの違いから理解が十分でないためにすれ違い、トラブルになるケースも少なくない。今後外国人市民は増えると見込まれている。これからの社会を生きていく子どもたちに、異なる背景をもつ人々とどのように生きていくのかについて考えてほしいと思っている。そこで、交流する機会をもつことで互いのことを「外国人」というレベルから、〇〇さんと名前呼び合う「個人レベル」にまで引きあげ、共に生活する仲間として、異なる文化や慣習をもつ相手を知り、互いを尊重していこうという実践意欲を培うことを目指して今回の教材を作成した。

この教材の使い方

この教材は、小学校高学年から中学校3年生を対象にすることを想定している。異なる文化や慣習を理解しようとする態度を子どもに身に付けてほしいという願いを込めて本教材を作成しているため、導入部分では日本と外国の違いや共通点・類似点をみつけることになっているが、どの国を取り扱うにしてもその国との出会いはポジティブなものになるようにしていただきたい。

全体のねらい

- ・日本とのつながりや日本との違いを知ることで外国への興味関心を高める。
- ・外国人の人権について考えることで人権意識の基礎を身につける。
- ・文化や慣習の異なる相手と互いの違いを理解し、尊重し合いながら生きていきたいという道徳的実践意欲を培う。

アクティビティ1 「ラオスってどんなところ？」

●概要

文化や慣習について書かれたカードを、①ラオスについての情報、②日本についての情報、③両国に共通する情報の3つに分類する。

●ねらい

生徒にとってあまりなじみのない国であるが、教師の示す資料や経験談を聞くことを通して、日本とラオスとの「違い」「似ていること・共通点」「関わり」に気づき、外国への興味関心を高める。

●主な対象

中学校1年生～3年生

●用意するもの

- ・情報カード（P78・予め切り離しておく）：グループ数分
- ・スライド「ラオスの概要」（P79～80）

●所要時間

50分

●すすめ方

学習活動・内容・問いかけ	留意点（ポイント）
1. 「ラオスの概要」について聞く。	メインの活動の答えに関わるため、すべてを話すのではなく、日本との距離や移動にかかる所要時間、人口や宗教についてのみに絞る。
2. 「情報カード」をグループごとに配布し、以下の3つに分類させる。 ①ラオスについての情報 ②日本についての情報 ③ラオスと日本に共通する情報	
3. 答えと解説を聞く。	
ふり返し 今日の授業を通して、意外だったことや面白いと思ったことをふり返る。	教師は答え合わせをしながら説明を補足する。

情報カード（見本）

※データはウェブ上からダウンロードしてください。
※予め切り離しておく。

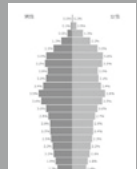
子どもたちはほとんど遅刻をしません。	早寝早起きをします。
よく病院に行きます。	ご飯を食べる前に必ず手を洗います。
ほとんどすべての国民が読み書きできます。	主要な発電方法は水力発電です。
よくお米を食べます。	道にはゴミがあふれ、穴も開いています。
女性の社会進出がすすんでおり、女性管理職もいます。	街には様々な国の食べ物が食べられるレストランがあります。
料理には味の素を使います。	子どもも大人もスマホを持っています。
バーコード決済が普及しています。	

※カードの解説

- ・「早寝早起きをします」：家の手伝いや托鉢があるため。
- ・「ご飯を食べる前に必ず手を洗います」：手を使って食べる文化があるため。

スライド「ラオスの概要」(見本)

※データはウェブ上からダウンロードしてください。

ラオスってどんな国？ 萩市立越ヶ浜中学校 高森菜摘	08.07~08.17 (10日間)  ラオス (Laos)	10.10~10.20 (10日間)  石破首相 初の外国訪問 10日からラオスへ ASEAN首脳会議に出席
	福岡空港 → 2h20min バンコクスワンナ プーム空港 ← 1h20min ヴィエンチャン空港 時差は... ー2時間(ラオスの方が遅い) total : 3h40min	概要 人口約171万人 (ほぼ埼玉県の人口) 面積約23万平方キロ (ほぼ日本の面積) 日本の本州に埼玉の人口で住んでいる状況 過疎地があらちちに散らばっている
人口ピラミッド  若い国 		言葉 公用語：ラオス語 多民族国家 (約50種の民族) それぞれに言葉・文化がある ສະບາຍດີ サバイディー (あいさつ) ຂອບໃຈ コブチャイ (ありがとう)
	日本で見つけた ラオス ラオス製のモノ 	日本で見つけた ラオス ラオス製のモノ https://youtu.be/EIETJdxBCa0 
ラオスで見つけた 日本 日本製のモノ・技術 	ラオスって どんな国？ ラオス人民民主共和国 	高森先生が見た・ 感じたラオスは？ 
カードを 分類しよう！ 次のカードには、高森先生がラオス に行って感じたことが書かれています。 それぞれ①～③どれに当ては まるでしょうか。 ① 日本のこと ② ラオスのこと ③ 共通のこと	ラオスの朝は早い 托鉢 	食べ物 カオニャオ (もち米・手で食べる) 
食べ物 ラープ (ハーブと焼き肉を タングラーやライムで和えた料理) 	多国籍料理 スリランカ ピザ (イタリア人経営) フランス料理 (なぜ?) 日本食 (日本人経営) 	味の素 

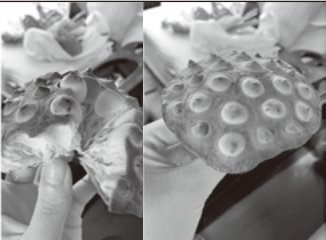
珍味

バッファロー（水牛）のソーセージ



珍味

蓮の実



珍味

コオロギ
バッタ
蚕




発電



ラオスで見つけた日本

日本製のモノ・技術



ラオスで見つけた日本

日本製のモノ・技術



ラオスで見つけた日本

日本製のモノ・技術



ラオスで見つけた日本

日本製のモノ・技術



ラオスで見つけた日本

日本製のモノ・技術



ラオスの教育

- ・ 9月～6月
- ・ 夏休みは農業の時期
- ・ 2学期制
(9～1月末、2月～6月末)
- ・ 小5 ←フランスの影響
- ・ 中4
- ・ 高3
- ・ 大4

ラオスの教育

授業料は無料（小中）
コト一代や施設管理費などが家庭負担
経済の悪化
→教育にお金かけられない
→他いて家にお金を入れようという発想

中退率

中学校・・・
11.2%

小学校・・・
4.4%

小学校を退学する子ども
毎年1万人

ラオスの教育

識字率

男・・・
86.3%

女・・・
82.1%

読解力調査で単語を1つも読めなかった小学2年生30%。読めても文章の内容を理解出来なかった生徒57%

母語で授業を受けられない。

ラオスの教育

ラオスは多民族国家

およそ50の民族

- ・ 独自の言葉
- ・ 独自の文化
- ・ 独自の慣習

教授言語はラオス語と学校教育法で定められている。
→母語で教育を受けられない。

スマホ




アクティビティ2 「ちがいのちがい」

●概要

教師が提示する事例を「あってもよいちがい」と「あってはならないちがい」「どちらともいえない」に分類し、そのように分類した理由を考える。

●ねらい

教師が用意した事例を「あってもよいちがい」と「あってはいけないちがい」「どちらともいえない」に分類し、生徒同士の意見を交流させることを通して、人権について考え人権意識を高めさせる。

●主な対象

小学校高学年～中学校3年生

●用意するもの

- ・ワークシート（P83～84）：全員分
- ・パワーポイント（P82）

●所要時間

50分

●すすめ方

学習活動・内容・問いかけ	留意点（ポイント）
1. 本時の学習活動を把握する。 学校区に住む外国人市民の人数や国籍についてのクイズを出題する。	外国人市民と共に生きることについて身近なこととして捉えさせる。本時の学習活動について説明し、考えさせたいすべての事例を提示する。
2. ワークシートを配り、まずは個人ですべての事例を「あってもよいちがい」と「あってはいけないちがい」「どちらともいえない」に分類し、その理由をワークシートに書く。	
3. 個人で考えた意見をもとに班で交流し、最終的にグループとしての考えをまとめる。最後に、黒板にどのように分類したかを提示する。	異なる意見をもつグループに問い返すなど、生徒の価値観を磨いていく。
4. グループの代表者が分類した理由を発表する。	
5. 『「ちがいのちがい」とは何か』を問い、考える。	

6. 多文化共生についての話を聞く

前時に教師がラオスについての紹介の中で触れた「多民族国家」の話から多文化共生につなげ、日本国内でも多文化共生の考えをもつことの必要性を伝える。そして身近な外国人市民として日本語学校に通う外国人学生との交流が企画されていることを予告し、次時につなげる。

パワーポイント（見本）

※データはウェブ上からダウンロードしてください。

萩市で暮らしていて、外国の方を見かけることはありますか？

- ・どこで？
- ・観光客？
住んでいる人？

外国人観光客だけではなく、外国人市民も増えている！



【クイズ①】

萩市の人口は41,785人。
そのうち、外国人市民は何人でしょう？

答え：471人

★後小畑には… 22人

★越ヶ浜には… 13人



【クイズ②】

山口県の外国人市民はどの国から来られたのでしょうか。多い順1位～5位に並べかえなさい。

フィリピン 韓国
インドネシア ベトナム
中国



山口県の外国人市民はどの国から来られたのでしょうか。多い順に並べかえなさい。【正解】

ベトナム
韓国
中国
フィリピン
インドネシア

ジョン先生



外国にルーツがある人と共に暮らしていくこと



ちがいが①～⑥を通して、
大切なことは何だと考えますか。

多文化共生

言語や文化の異なる人々が互いの違いを理解し、尊重し合いながら、地域社会の一員として生きていくこと。

誰もが安心して暮らせる平和な社会の実現

単一民族国家

多民族国家



異なる言語
異なる文化
↓
1つの国を
共有する

寛容性

お互いを尊重し合いながら生きている。

外国にルーツがある人と共に暮らしていくこと



「ちがい」の「ちがい」を考えよう

氏名（ ）

6つの「ちがい」が、それぞれどの「ちがい」なのかを話し合っ、当てはまるところに印を書こう。

	○あってよいちがい △迷う（AともBとも言えない） ×あってはいけないちがい	そう思った理由
ちがい① A 先生は辛い食べ物が好きだが、B 先生は辛い食べ物が嫌い。		
ちがい② A さんは A 型なので毎月 25 万円もらえるが、B さんは B 型なので毎月 23 万円である。 （入社日は同じとする。）		
ちがい③ （コンビニにて） A さんは日本人なのでお酒を买えるが、B さんは外国人なのでお酒を売ってもらえなかった。		
ちがい④ コンビニ店員の A さんは日本人なのでヒゲを剃らないと怒られたが、同じくコンビニ店員の B さんは外国人なのでヒゲを剃らなくても怒られなかった。		
ちがい⑤ 自国の宗教を信仰している A さんは授業中もヒジャブを着けているが、B さんは授業中は帽子を脱ぐように言われた。		
ちがい⑥ 昼休みにバスケをしている級友に「一緒に遊びたい」と言うと、A さんは日本人なので仲間に入れてもらえるが、B さんは外国人なので仲間に入れてもらえない。		

ちがい①～⑥を通して、あなたは「大切なことは何」だと考えますか。

<キーワード>

社会

★今日の授業を通して考えたこと、学んだことは何ですか。また、それをこれからの生活にどのようにいかしていきたいですか。

氏名（ ）

アクティビティ3 「やさしい日本語」

●概要

日本語の単語や短文をやさしい日本語に言い換える演習に取り組む。

●ねらい

外国人とのコミュニケーションをとる際の言語は必ずしも英語ではないということ、そして日本語学習者とのコミュニケーションは「やさしい日本語」が有効であることに気づき、より良いコミュニケーションについて考え実践していこうという実践意欲を培う。

●主な対象

小学校高学年～中学校3年生

●用意するもの

・パワーポイント（P86～87）

●すすめ方

学習活動・内容・問いかけ	留意点（ポイント）
1. 本時の学習活動を把握する。	次時に予定されている外国人学生との交流に向けてよりよいコミュニケーションについて考え学ぶためにワークをすることを伝える。
2. 日本語を「やさしい日本語」に変換する。 いくつか「やさしい日本語」についての問題に取り組む。（P86スライド13～16）その後、教師がやさしい日本語のポイントを紹介する。	
3. 「やさしい日本語」を意識しながら、外国人学生との交流で行う活動に練習として取り組む。	実際に行う活動に事前に取り組むことで、交流会当日に向けての実践意欲が高まるようにしたい。
4. やさしい日本語が誕生した背景を知り、今後の生活に本時の学びをどのように生かしたいか考える。	やさしい日本語が災害時の避難所で活用されていることを話し、日常生活においてはもちろん、非常時に外国人と日本人との壁がうまれることなく、コミュニケーションをとって助け合うコミュニティづくりに貢献してほしいという願いを伝える。

パワーポイント（見本）

※データはウェブ上からダウンロードしてください。

あなたは日本の旅館で働いています。

ある日、外見やお名前からして外国人と思われるお客様が泊りに来ました。

あなたは何語で接客しますか？
（あなたの語学力は今の程度とします。）

あなたは日本の旅館で働いています。

ある日、外見やお名前からして外国人と思われるお客様が泊りに来ました。

あなたはどのように接客しますか？
（あなたの語学力は簡単な自己紹介や日常会話ならできるが、物事の説明は難しいとします。）

外国人っぽい人には、英語で話せばいいんだ！！



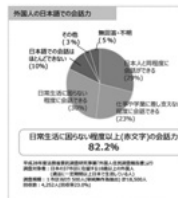
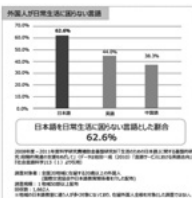
ALTの先生の話聞いてみよう

外国人っぽい人には、英語で話せばいいんだ！！

日本語で話しかけられたら日本語で返す。相手が不便そうならば、「他に話しやすい言語はありますか？」とコミュニケーションしてみる。このように、決めつけずに相手と向き合うことが大切なのではないでしょうか。



●●先生はラオスで...



ここは誰が何するところ？

さくら国際言語教育学院

- ・外国人学生
- ・日本人



さくら国際言語教育学院の学生と交流します！

12月4日（水）5時～6時
3つの国の出身の学生6名



なぜさくら国際言語教育学院の学生と交流するの？

人権参観日のキーワード
“多文化共生”



お互いのことを知ることが、多文化共生・国際理解の第一歩です！

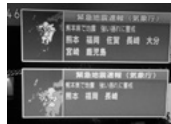
さくら国際言語教育学院の学生と交流します！

学生の母語は英語ではありません。
私たちの共通言語は日本語です。



より良い交流にするために、より良いコミュニケーションについて考えよう。

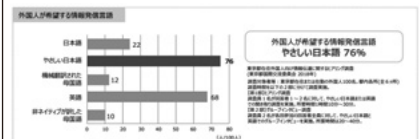
どちらの表示の仕方がよりたくさんの人に理解されると思いますか？



やさしい日本語

普段使われている言葉を外国人にもわかるように配慮した、簡単な日本語のこと。

日本語学習者と、やさしい日本語であればコミュニケーションが取れます。



次のことばをやさしい日本語にしてみよう

- ① 召し上がる ⇒ 食べる
- ② 土足禁止 ⇒ 靴を脱いでください
- ③ 高台へ避難してください ⇒ 高い所へ逃げてください

やさしい日本語のコツ①

- ② 簡単な言葉を使う
 - ・漢語→和語（避難→逃げる）
 - ・カタカナ語→和語（ダイヤ→電車が来る時間）
 - ・敬語、謙譲語→普通語（ご覧ください→見てください）
 - ・複雑な動詞→簡単な動詞（聞いてみてください→聞いてください）
 - ・抽象的な言葉→具体例を示す（特徴は？→色は？）

覚えてほしい言葉はそのまま使い、説明を加える。

次のことばをやさしい日本語にしてみよう

- ① ウォーキング ⇒ 歩くこと
- ② 登校 ⇒ 学校へ行く・来る
- ③ うち、ここたわんけえ、かわりにふいちょってーやー ⇒ 私は届かないので、拭いてください。

次のことばをやさしい日本語にしてみよう

- ① 最近K-POPが人気ですね。 ⇒ 最近韓国の歌が好きな人が多いですね。
- ② 趣味は何ですか。 ⇒ 何が好きですか？スポーツ？音楽？料理？
- ③ その観光名所はどこですか。 ⇒ ○○の有名なところ・ものは何ですか。

やさしい日本語のコツ②

- ② 簡単な文構造にする
 - ・文を短くする
 - ・文末表現はなるべく統一する（です・ます形）
 - ・受身文→能動文（～～が配られます→～～を配ります）
 - ・二重否定は避ける（可能性がないわけではない→可能性がある）
- ③ 情報を絞る
 - ・分かりやすいよう、伝える順番を工夫する
- ④ 必要に応じて、説明を加える
 - ・「日本の常識」を前提としている内容は、補足説明を加える

共通点を探せ！

ペアになって、その人との共通点を見つけましょう。共通点を見つけるために、自分のことを伝えたり、相手に質問したりしましょう。

制限時間は1分！
「私たちは○○チームです」と発表します。

共通点を探せ！

3人グループになって、その人との共通点を見つけましょう。共通点を見つけるために、自分のことを伝えたり、相手に質問したりしましょう。

制限時間は1分！
「私たちは○○チームです」と発表します。

共通点を探せ！

4人グループになって、その人との共通点を見つけましょう。共通点を見つけるために、自分のことを伝えたり、相手に質問したりしましょう。

制限時間は1分！
「私たちは○○チームです」と発表します。

フリートーク

4人グループで、次のテーマについて自由に話しましょう。

- ★好きなゲームまたはスポーツ
- ★萩（山口）の好きなところ・おすすめの○○

やさしい日本語を意識して、相手に合わせたコミュニケーションをとり、お互いのことを知る時間にしましょう！



コラム やさしい日本語の歴史

やさしい日本語の歴史は、1995年の阪神・淡路大震災に遡ります。この震災のとき、日本人の死者数は約1万でしたが、外国人の死者数は2%以上でした。これは、外国人に対しては迅速に災害時の情報伝達を行う手配がとられていたことが原因とされています。その後、新潟県中越地震(2004年)や東日本大震災(2011年)を経て、災害時のやさしい日本語での発信の取組が全国に広がりました。一方、平時のやさしい日本語での情報発信も、2000年代に入ってから、地方公共団体や国際交流協会で行われています。近年では、外国人観光客とのコミュニケーションや、外国人住民と日本人住民の交流を促進する手段としてやさしい日本語も活用、利用が進んでいます。



このようにやさしい日本語は多方面で活用されていますが、やさしい日本語の利用率はまだ多くの人に知られていません。熊本県は2016年3月までに、道県庁で外国人と日本人がコミュニケーションをとることができ、お互いに距離を置いていたという事例がありました。この課題の1つとして、報道では、外国人がやさしい日本語であればコミュニケーションがとれることを日本人が認識していなかったことが指摘されています。

あなたならこれをどのように伝えますか？

昼食配布予定
12:00～

※本日の昼食には、いか・えび・たまごが入っています。アレルギーの方は申し出てください。代替の物を用意しております。

あなたならこれをどのように伝えますか？

歯の診察に〇〇先生が来られます。診察を希望される方は事前に受付を済ませてください。

なぜさくら国際言語学院の学生と交流するの？

人権参観日のキーワード
“多文化共生”



お互いのことを知ることが、多文化共生・国際理解の第一歩です！
〇〇人だからではなく…〇〇さんは…

アクティビティ4 「知り合いになろう」

●概要

市内にある日本語学校の学生（外国人市民）と交流をする。

●ねらい

- ・前時で学習したやさしい日本語を意識しながら外国人市民と交流することで相手に合わせたコミュニケーションを取るものの有用性を実感する。
- ・互いの共通点や文化や慣習の違いについて知り、理解しようとする実践的意欲を培う。

●主な対象

中学生

●用意するもの

- ・パワーポイント（P89）
- ・母国について説明する際に必要な資料（外国人市民に作成してもらう）

●すすめ方

学習活動・内容・問いかけ	留意点（ポイント）
1. 本時の流れを把握する。	教師自身がやさしい日本語を使用するように心がける。
2. 「共通点を探せ！」に取り組む。 ①日本人の生徒と外国人市民がペアになり、会話をしながら共通点を探る。最後に「私たちは〇〇チームです」と発表する。 ②同様の活動を3人で行う。 ③同様の活動を4人で行う。	戸惑う様子が見られたら、生徒と外国人市民をつなぎ、発話を促す。
3. 外国人市民の母国についての紹介を聞く。 （外国人市民は日本語学習者のため、日本語で話してもらう）	話を聞くだけでなく、質問したいことやさらに深掘りして聞きたいことは、随時聞くように促す。ざっくばらんに話せる雰囲気をつくる。
4. 各国の言葉のあいさつを学ぶ。	この出会いを大切にして、今後街で出会ったら勇気を出して声をかけてほしい。また、行事や仕事、災害時等で一緒に活動するような場面に出会ったら今回の学びをいかして協力して活動してほしい等、教師の願いを伝える。
5. 代表生徒・学生があいさつをする。	

パワーポイント（見本）

※データはウェブ上からダウンロードしてください。

●●中学校へようこそ！ 	～ Today's menu ～ 1. アイスブレイク 2. 共通点を探せ！ 3. ふるさと紹介 4. フリートーク 5. あいさつ講座 6. 写真撮影 7. 代表挨拶	共通点を探せ！ ペアになって、その人との共通点を見つけましょう。共通点を見つけるために、自分のことを伝えたり、相手に質問したりしましょう。 制限時間は1分！ 「私たちは〇〇チームです」と発表します。
共通点を探せ！ 3人グループになって、その人との共通点を見つけましょう。共通点を見つけるために、自分のことを伝えたり、相手に質問したりしましょう。 制限時間は1分！ 「私たちは〇〇チームです」と発表します。	共通点を探せ！ 6人グループになって、その人との共通点を見つけましょう。共通点を見つけるために、自分のことを伝えたり、相手に質問したりしましょう。 制限時間は2分！ 「私たちは〇〇チームです」と発表します。	フリートーク ★好きなスポーツやゲームについて ★秋のすきなところ・おすすめは？ など、自由にお話ししましょう！ 13： まで
ふるさと紹介 さくら国際言語学院の学生さんのふるさとについて紹介してもらいます！ 話を聞いて、もっと知りたいことなど質問してももちろんOK！ 13： まで	あいさつ紹介 さくら国際言語学院の学生さんのふるさとで使われている言葉であいさつをしてみよう！ 	写真撮影 今日の出会いを記憶と記録に残しましょう！
代表挨拶	～ 今日の出会いを大切に ～ 	

おわりに

外国と日本は違うというイメージをもつ生徒が多いが、アクティビティ1で違いだけでなく共通（類似）についても注目させることで、日本とのつながりを知ったり親しみをもったりさせることができる。生徒にとって一番身近な外国人であるALTの活用はもちろん、地域人材の活用も積極的に行いたい。日々の教育活動の中で、生徒が日本の外に興味をもったり、自分の身近にある課題に気づき考えたりするきっかけをつくり続け、生徒の可能性を広げていきたい。

参考文献・引用資料

- ・文化庁 在留支援のためのやさしい日本語ガイドラインほか
https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html
- ・山口市国際交流課主催「多文化共生社会推進活動」講座の一部を参考（アクティビティ4パワーポイント）

実践事例報告

プログラム作成・実践者

高森 菜摘

学 校 名

萩市立越ヶ浜中学校

担当教科

外国科（英語）

実践教科

英語

【授業の概要】

(1) 単元のテーマ

「多文化共生」

(2) 単元のねらい

言語や文化の異なる相手と互いの違いを理解し、尊重し合いながら生きていきたいという思いをもち、多文化共生社会の実現のために自分たちができることは何かを考えることができる。

(3) 概要と生徒の感想・学びや気づき

「行ってみたい国は？」と尋ねるとたいいてい先進国が選ばれる。そこで、生徒の外国に関する興味関心を広げ、開発途上国に対してポジティブなイメージをもたせるねらいのもと、アクティビティ1を実施した。終末に、日本は単民族国家であるのに対しラオスは多民族国家であることにふれ、単元のテーマにつなげた。

- ・「最初はラオスという国は聞いたこともなく、どんな国か想像もつかなかったけど、スマホやQRコード決済、多国籍なレストランなど日本と同じように進んでいる部分もあって驚いた。でも、経済や教育問題はまだあるので少しでも支援して改善されてほしい。」
- ・「貧困の国と聞いていたから、子どもたちもスマホを持っていることに驚いた。」
- ・「お米がモチモチしていると聞いたので1回食べてみたいと思った。」

次の展開でアクティビティ2を行った。取り扱う事例は、生徒がすぐに判断できるものと迷うものの両方を用意した。また、事例を読み進めるにつれ生徒の思考が深化するように工夫した。ちがい②では自分では変えられないこと、ちがい③では外国人とくくられ差別を受けること、ちがい④では相手の国の慣習、ちがい⑤では宗教について考えられるように設定した。本アクティビティの実践を通して文化や慣習が異なる相手と共に生きるために、互いを理解し尊重しようとするのが大切であるという意識をもたせることができた。その意識をもたせた上で、実際に外国人市民との交流の場を設けることを生徒に伝えた。

- ・「日本人や外国人、人によって態度を変えることはいけないことだけど、一人ひとりの気持ちを考えて接し方を変えるのはいいことで、「あってはいけない違い」と「あっていい違い」があることが分かった。」
- ・「宗教上の理由で事情があることを理解し合って生きていくことは難しいと思ったけど、実際にできている中学生がいることを知って自分も頑張ってみようと思った。」
- ・「これからの社会は少子高齢化やグローバル化により外国人も増え、関わりが多くなると思います。そこで互いを傷つけないように理解・尊重し合って生きていきたいと思う。」
- ・「自分を基準にして外国人や周りと違う人を批判してはいけないと思った。周りとは違うことをみ

んなに伝えて分かってもらうことや、相手を理解する考え方が大切だと思った。」

第3次にアクティビティ3を行った。外国人市民との有効なコミュニケーションの手段としてやさしい日本語を紹介し、演習を取り入れながら感覚をつかませていった。そして最後となる4限目に実際に交流をさせた。

- ・「最初はやさしい日本語を話すのは簡単だと思ったけれど、難しい言葉を伝えるのは少し工夫がいると思った。」
- ・「やさしい日本語を話した方がいろんな人に伝わるのだと思った。多文化共生の実現のためには、まずコミュニケーションが必要で、「〇〇人だから～～」と決めつけてはいけないと分かった。」
- ・「日本国内にいる外国人の中で、簡単な日本語なら理解できるという方が多くて驚いた。これから地域で必要なお知らせなどをするときには言葉を意識したい。」

単元の総まとめとなる第4次では、生徒は最初緊張の表情を見せたものの、交流を通して相手のことを知っていくことで自然と打ち解けていき、「また交流したい」「学校の外で会ったらあいさつしたい」という感想が見られ、同じ地域住民として共に生きたいという思いをもつことができた。

- ・「『スイーツは何が好きですか』と聞いても伝わらなかったの『甘いもの』に言い換えたら伝わりました。」
- ・「『和菓子』が何か分からないと聞き返されたので『日本のお菓子』と答えたら分かってもらえた。」
- ・「学生さんの母国では、食事は手で食べる文化が面白いと思った。手で食べたほうが美味しいと言っていたのもおもしろい違いだと思った。」
- ・「あまり英語や日本語が得意ではなくても、話したい気持ちがあれば伝わるので外国人だから日本語が通じないと諦めずにコミュニケーションに挑戦してみたいと思った。」
- ・「もし避難所などで外国人の方がいたら先にやさしい日本語で話してみて、日本語が通じなかったら翻訳機を使いたい。」

(4) 指導上の留意点

アクティビティ2について、生徒やその家族等の事情を考慮しながら取り扱う事例を選択する必要がある。

【授業実践をした上での感想・ふり返り】

生徒には馴染みのない国を取り上げる際に、「可哀そう」「自分には行きたくない」などネガティブに感じるのではなく、ポジティブな出会いにしたいという思いがあった。授業後、「行ってみたいと思った」「面白いと思った」等の生徒の感想が見られたので、そののねらいは達成できたと実感している。また、最終的には自分の身近なことに目を向け、自分にできることを考え実践にうつす・またはこれから行動したいという実践意欲を培いたいという思いから、地元の日本語学校に協力を仰いだ。わたしにとっても本校にとっても初めての試みであったが大きな教育的効果があったと振り返る。今後も地域の教育資源や人材を活用して、国際協力や国際理解、多文化共生について生徒と考えていきたい。



学生と交流している様子



「ちがいのちがいの」の授業で意見を共有している様子